

平成26年2月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 平成26年2月20日（木）午後2時00分～午後3時40分

2 場 所 所沢市役所6階 602会議室

3 出席者〔委員〕大岩幹夫委員長、京谷圭子委員長職務代理者、吉本理委員、
中川奈緒美委員、寺本彰委員、内藤隆行教育長

〔事務局〕平野澄彦教育総務部長、川音孝夫学校教育部長、斉藤雅裕教育総務部次長、齋藤敏男学校教育部次長兼学校教育課長、北健志教育総務担当参事兼教育総務課長、北田賢司教育施設担当参事兼教育施設課長、横須賀邦子教育センター担当参事兼教育センター所長、内堀耕介スポーツ振興課長、冨田一成文化財保護課長、比留間嘉浩生涯学習推進センター所長、岸企子所沢図書館長、師岡林保健給食課長、市川雅美教育総務課主幹兼教育企画室長、海老沢康子スポーツ振興課主幹、沼田芳行学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長、原初恵社会教育課主査

〔書記〕鈴木明彦教育総務課副主幹、青木穂高教育総務課主任

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 別添のとおり（2名）

6 開 会 本日の議事について議案第38号から議案第40号の3件及び追加議案第41号、第42号の計5件。議案第41号及び議案第42号は人事に関する審議のため、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

7 議 題

議案第38号 所沢市教育委員会事務委任規則の一部を改正する規則制定につ

いて

議案第39号 所沢市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について
資料に則り、北教育総務担当参事から説明がなされた。

以下、質疑。

(寺本委員)

所沢市教育委員会事務委任規則の第4条にある「緊急に処理する必要があると認められる事務」とは、具体的にはどのようなことをイメージしているのでしょうか。

(北教育総務担当参事)

この規定については、他市においても多数で運用されていますが、考えられる事例としては、年度途中における管理職の突発的な退職、いわゆる死亡退職を含めたものなどを想定しています。

(寺本委員)

今までは、そのような事態が生じたときに、どのように処理してきたのでしょうか。

(北教育総務担当参事)

教育長の専決ということで、処理しました。

大岩委員長長の採決により、出席委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第40号 学校給食費の改定について

資料に則り、師岡保健給食課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(寺本委員)

改定率が2.7%となっていますが、消費税増税分の3%としなかった理由を教えてください。

(師岡保健給食課長)

基本的には税率8%に換算して計算していますが、10円未満を切り捨てますので、結果的に改定率が下がっています。

(吉本委員)

今回は、消費税増税の対応のために、このような給食費の改定になっていると思いますが、政府が2%の物価上昇目標を持っていることを考えると、今後大きな改定が予想されるのであれば、この機会に上乗せして改定してみてもいいでしょうか。消費税の増税分だけを対象としているのでは、またすぐに改定になるのではないかと思います、いかがでしょうか。

(師岡保健給食課長)

物価の上昇については、2010年の消費者物価指数を100とすると、2013年は100.3であり、ほぼ横ばいで推移していますので、今回の改定については、消費税の増税分のみで改定をさせていただきたいと思います。

(寺本委員)

消費税がさらに10%に増税となった際にも、給食費の改定が行なわれますか。

(師岡保健給食課長)

消費税10%になった際には、増税の対象物品が流動的であることを聞いていますので、その時点で再度検討したいと思います。

大岩委員長の採決により、出席委員全員が賛成し原案どおり可決された。

【 傍聴者2名及び関係者以外退室 午2時18分 】

議案第41号 教職員の人事について

資料に則り、川音学校教育部長から説明がなされた。

大岩委員長の採決により、出席委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第42号 教育委員会職員の人事について

資料に則り、平野教育総務部長から説明がなされた。

大岩委員長の採決により、出席委員全員が賛成し原案どおり可決された。

【 傍聴者2名及び関係者以外入室 午後2時42分 】

8 協議事項

所沢市教育振興基本計画の改定について

資料に則り、市川教育総務課主幹から説明がなされた。

以下、質疑。

(寺本委員)

資料に「公民館」という文言がありますが、公民館という名称はまちづくりセンターに変わったのではないのでしょうか。

(原社会教育課主査)

公民館という名称は、社会教育施設として現在も残っており、所沢市立公民館設置及び管理条例に基づき、設置されています。

(大岩委員長)

それでは、ご対応をよろしくお願いします。

(市川教育総務課主幹)

ご協議ありがとうございました。次回3月の定例会に議案として提出させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

所沢市教育行政推進施策について

資料に則り、市川教育総務課主幹から説明がなされた。

以下、質疑。

(寺本委員)

資質向上研修事業の「教師力の向上」について、若手教員育成のために指導主事によるマンツーマン指導を行なうとありますが、若手教員にとって一番必要なのは、授業力であると思います。若手教員にとっては、毎回マンツーマンで一般論的な指導を受けるのではなく、具体的な教材を使った指導を受けたいのではないかと思います。そのような、具体的な授業方法を知る機会があればよいと思います。多忙な学校スケジュールや初任者研修があり、なかなか時間を作るのは難しいかもしれませんが、若手教員が参考にしたい授業を見ることが出来る機会を、簡単に確保できるシステムを作っていただきたいと思います。授業研究という形をとると、指導案を作って、指導者のチェックを受けたり、レポートの提出が必要になったりしますが、もっと気軽に他の教師の授業を見られる機会を作れたらよいのではないかと思います。

授業自体が良くならなければ、せっかく3学期制に移行しても、意味がなくなってしまう。そのため、この事業を行なうのは、教育センターだけではなく、学校教育課とも連携して、平成26年度にそのような機会を設定する方向で検討していただければありがたいと思います。場所としては、生涯学習推進センターなどが、利用できると思います。授業研究や研究員のレポートが伴う大々的なものではなく、気軽にいろいろなタイプの授業を見られる機会を作ることが必要であると思います。

【 傍聴者1名退室 午後3時4分 】

(横須賀教育センター担当参事)

今年度、2年次教員研修会に62名が参加し、教育センター及び学校教育課の指導主事が、2年次の教員の都合に合わせて学校訪問し、授業を参観し指導を行いました。成果としては、初任者研修が終了し不安を抱えていた時期に、いろいろな研修に参加することで、授業実践や学級経営に役立つことができたという感想をいただいています。教育センターで行なっている様々な研修会を2年次教員に周知し、その中から選んで研修会に参加してもらいました。ただし、中学校は教科別であり、教科の授業研究をどのように見せるか、今後の課題であると思います。

(沼田学校教育課主幹)

マンツーマン指導については、教育センターの指導主事に加え、学校教育課の指導主事も行なっています。若手の教員が、気軽に指導主事に質問できるようにしており、様々なことに対応できるようになっています。さらに、寺本委員ご指摘のようなことを踏まえて、検討していきたいと思います。

(寺本委員)

若手の教員の立場として、マンツーマン指導の際にお願いしたいことは、例えば理科の力の問題などはイメージしづらい内容であり、これを上手に授業を行なっている先生の紹介を指導主事が行ない、若手教員が気軽に授業を見られるようにすることです。簡単な手続きを経て、そのようなことが実行できるシステムがあると、若手教員が自信をつけていくと思います。また、そうすること

で、無理な力んだ生徒指導が減ると思います。

(大岩委員長)

校長同士が、適切に連携を取るようなしくみを作ることが、一番やりやすいと思います。

(川音学校教育部長)

現在の取り組みとしては、若手の教員が所属している校長が、はつらつ先生の賞を受賞しているような先生の授業を見せるようなことをしています。また、学び改善プロジェクトの一環で、力のある先生の導入の部分をビデオ収録して、それを蓄積していく取り組みもしています。今年度までは、学び改善プロジェクトで各学校が、学校単位で研究をしていましたが、来年度の予算が認められれば、学校のほか、教科別でも研究を受けられるようになります。教科ごとに研究を行なうことで、教科部会の中で先輩教員と若手教員が、一緒に勉強する機会を設けることを予定しているところです。様々な情報を集めて、取り組んでいきたいと思います。

(横須賀教育センター担当参事)

11月末現在の教育センターの教育用コンテンツのアクセス件数は、2年次研修の作業をする際に利用される指導案データベースが447件、指導案作成の手引きが176件、カリキュラム選択が103件であり、1000件以上のアクセスがあります。夏休み前にアクセス件数が多くなっており、2年次研修の際にこのコンテンツを利用していることが、件数から窺われます。

(吉本委員)

最近では、他県において成績の良い県などに出向いて、情報の交換をするなどをしていると聞いていますが、所沢市ではそのようなことはしないのでしょうか。

(横須賀教育センター担当参事)

教育センターの研修員や研究員においては、そのようなことはしておりません。ただし、研究員が授業に差し支えない時期を選んで、独自に県内の大学等の研修会に出向くことはしています。

(吉本委員)

予算も限られているとは思いますが、もう少し視野を広げて研究していただき

たいと思います。「学力の向上」など、いつも同じような言葉が出てきますが、具体的には何をしているのかあまり見えないので、具体策が見えるようにしていただきたいと思います。学び改善プロジェクトに諮問しているところではあります。全国的にどのような活動が行われていて、どのような成果が出ているかを研究するなど、もう少し視野を広げて施策を考えていただきたいと思います。

(内藤教育長)

学び改善プロジェクトは、平成23年度から3カ年で、全ての小中学校でその取り組みが一巡し、一定の成果が出ています。教師が学習の目標を提示することで、子どもたちが勉強してきた内容を理解できるようになったことは、非常に大きな成果であると思います。小学校ではかなり実現できていますが、中学校ではあと一步というところであり。学び改善プロジェクトは5年が経過し、各学校の研究は今年度で終了し、PDCAサイクルということで5年間の総括をし、さらに進めていこうと考えています。名称は「学び創造プラン」に変えますが、名称を変えただけでなく、内容をさらに深めた取り組みにしていきたいと考えています。「学び改善」という言葉が定着して、改善を図ってきましたが、それを生かして、具体的にさらに一步進んだ提案をしていきたいと思っています。

(齋藤学校教育部次長)

教育センターの研究員制度について、以前は研究部で2年に1度、管外視察を行っていましたが、しかし、予算が縮小しており、視察になかなか行けない状態になっています。「学び創造プラン」において、限られた予算ではありますが、何とかやりくりをしながら、各学校で工夫していければと思います。講師を呼ぶだけではなく、視察に行くことも、研究の一つの方法として考えられます。

(吉本委員)

市長が、教育の向上ということを謳っていますので、事務局からも予算を強く要求してほしいと思います。

(寺本委員)

予算については、旅費の関係が一番問題になると思います。同じような良いも

のを見るのであれば、他県に視察に行くのではなく、授業自体は教科担当を持っていなくても、その分野に長けている先生に、卒業生などを集めて授業し、それを若手教員に見せるほうがよいのではないかと思います。そのような機会を、増やしていただきたいと思います。

「学校法律相談事業」について、現時点で各学校にどの程度周知されているのでしょうか。管理職だけでなく、一般教職員にも周知されているのでしょうか。

(齋藤学校教育部次長)

3月の市議会定例会において、議会の承認を得なくてはならず、正式に決定しているものではないので、一般の教職員には周知していませんが、校長会には、来年度にこの事業を行ないたい旨の話をしてあります。

(寺本委員)

議会の承認を得たら、早めに周知をしていただいたほうがよいと思います。学校における様々なトラブルの対応に、機能を発揮すると思います。この推進政策の冊子が発行されてから、事業が開始されるのでは遅いと思います。この件に関しては、いつ起こるか分からないので、早めの周知をお願いします。

(京谷委員長職務代理者)

側わん症検査を実施していただくことになり、ありがとうございました。学校医の先生方も、とても喜ばれていました。

(大岩委員長)

今後、各委員の意見等を踏まえた対応をよろしくお願いします。

(市川教育総務課主幹)

ご協議ありがとうございました。ただいまいただきましたご意見を踏まえまして、次回3月の定例会に議案として提出させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

9 報告事項

所沢市教育委員会後援等名義使用許可について(教育総務課)

所沢市教育委員会の2月から5月までの主な行事予定について(教育総務課)

なお、沼田学校教育課主幹から、主な行事予定の内、所沢第二幼稚園の卒園式、小中学校の卒業証書授与式について説明がなされた。

平成25年度所沢市スポーツ大賞 受賞者について(スポーツ振興課)

埋蔵文化財調査センター発掘調査報告会・講演会について(文化財保護課)

冬季企画展「東山道武蔵路～幅12メートル!発掘された所沢の古代道路～」

(生涯学習推進センター)

第2次所沢市子どもの読書活動推進計画に係るパブリックコメントの実施結果について(所沢図書館)

第11回所沢市伝統芸能発表会について(文化財保護課)

第2回所沢市学校学期制検討委員会報告について

沼田学校教育課主幹より、以下のとおり説明がなされた。

まず、事務局から、前回会議内容のまとめと今回の協議内容について説明し、協議に入った。協議は、「『新たな三学期制』に移行するために工夫していく観点について」、「授業時数の確保について」、「評価・評定の工夫と学校行事等年間指導計画について」の3点に絞って行なった。

一部の委員からは、3学期制に移行する理由や移行の時期について、通知のあり方などについて意見が出された。また、「2学期制について教育委員会会議で総括されてきたのか」、「十分な準備期間がほしい」、「現在の学校行事との兼ね合いが心配である」という意見があった。

一方、「教育委員会会議では十分に議論されている」、「多くの自治体が経験したことがない2学期制のよさを生かした、新しい3学期制をつくることのできるのではないか」、「2学期制に瑕疵があるから学期制を変更するのではなく、さらに一歩進んで、子どもたちの考える力を伸ばす、基礎、基本の力を伸ばしていくために、新しい3学期制について検討しているのではないか」、「教育委員の意見を反映して、よりよい教育を進めてほしい」、「授業時数の確保は、長期休業日の削減や各学校の工夫などを組み合わせれば、実現可能ではないか」、「大きな枠組みを決めるのは教育委員会であって、中身を工夫してより良いものにしていくのは、各学校の工夫によるものである」などの意見もあった。

委員長からは、学校現場と教育委員会が歩調を合わせて進めてほしいとまとめられた。次回は、3月18日に教育センターで行う。この会議については、教育委員会会議に報告する。

以下、質疑。

(吉本委員)

学期制検討委員会について、学校現場とは、どのような方を対象としているのでしょうか。

(沼田学校教育課主幹)

小中学校の教員です。

【 傍聴者 1 名退室 午後 3 時 4 0 分 】

(吉本委員)

教員というのは、職員室にいる方全員のことを言うのでしょうか。それとも、校長や教頭のことを指しているのでしょうか。

(大岩委員長)

一般的には、校長が学校の全ての職員の考えを踏まえたうえで、代表者となっているのではないのでしょうか。

(齋藤学校教育部次長)

検討委員会の委員の中には、校長会代表 2 名、教頭会代表 2 名、教務主任 2 名、一般教諭 2 名おりますが、この 6 名の方が学校現場といわれる方になります。実際に子どもたちや保護者と関わっているという意味で、学校現場と言われていきます。

(中川委員)

学校現場の意見を尊重してほしいという意見は、前回の検討委員会でも出ていたようですが、再度出されるということは、歩調を揃えていないと思われるということでしょうか。本来、検討委員会を立ち上げる前提には、皆が歩調を合わせているはずですが、このような意見が出るのは、少し疑問に感じます。

(大岩委員長)

学校の考えを尊重してほしいという意味は、新たな 3 学期制に移行するにあたって、教育委員会から押し付けて進めるのではなく、一番子どもと接している学校の考えを尊重しながら、移行を進めてほしいということであると思います。

(内藤教育長)

2学期制から3学期制に移行した自治体が、学期制を移行して得られた成果について、何か質疑はありましたか。

(平野教育総務部長)

第1回の検討委員会において、PTA連合会代表の委員から、2学期制から3学期制に移行した自治体の事例を教えてほしいとの質疑があり、今回事務局より、徳島市、和歌山市、本庄市から聴取した結果、効果として、「夏休み前に通知表を出すことで、夏休み中の学習計画を立てやすくなった、教員としても進路指導における調査書が、作成しやすくなった」、「通知表を渡す回数が増えることで、子どもの実態がよくわかるようになったなど、保護者のニーズに応えることができた」、「4月始めと3月終わり以外、通常どおりの授業を行なうことで、2学期制と同様に授業時間数と給食の日数が確保できている」などと説明しました。

(大岩委員長)

教育委員会後援等名義使用許可について、先日も全日展の問題が大きく報道されましたが、後援をする際には、許可を出す団体について、ぜひ注意を払ってほしいと思います。

(吉本委員)

家庭新聞に、武道館が20周年記念を行なった記事が載っていましたが、そこに教育委員会が後援している記載はなかったようですが、いかがでしょうか。

(内堀スポーツ振興課長)

そのとおりです。なお、開会式には、教育長を始め、私も招待されています。

(内藤教育長)

武道祭ということで、武道館を利用している剣道連盟や柔道連盟、弓道連盟など、武道の方が一堂に会して、普段の練習の成果などを見せて、20周年のお祝いをしたものです。私やスポーツ振興課の職員も、教育委員会の代表として参加しました。

(吉本委員)

中学校は武道が必修化になると思いますので、武道に携わる方と連携がとれるように、後援等をしてほしいのではないかと思います。

(内藤教育長)

就学前の子の合気道や少年剣道から、80歳ぐらいの高齢者による演武など、非常に幅広い世代の発表がありました。

10 その他

- ・教育委員会 3月定例会：3月20日（木）午後 3時30分～
所沢市役所7階 研修室
- ・教育委員会 4月定例会：4月23日（水）午後 1時30分～
所沢市役所6階 601会議室

11 閉会 午後3時40分